

2017年3月期(FY2016)
第3四半期
連結決算報告



大幸薬品

2017年2月
大幸薬品株式会社



- 感染管理事業伸長も医薬品事業減収により売上高微減
- 営業利益大幅増加（対前年同期比37%増）

連結經營成績

連結経営成績サマリー

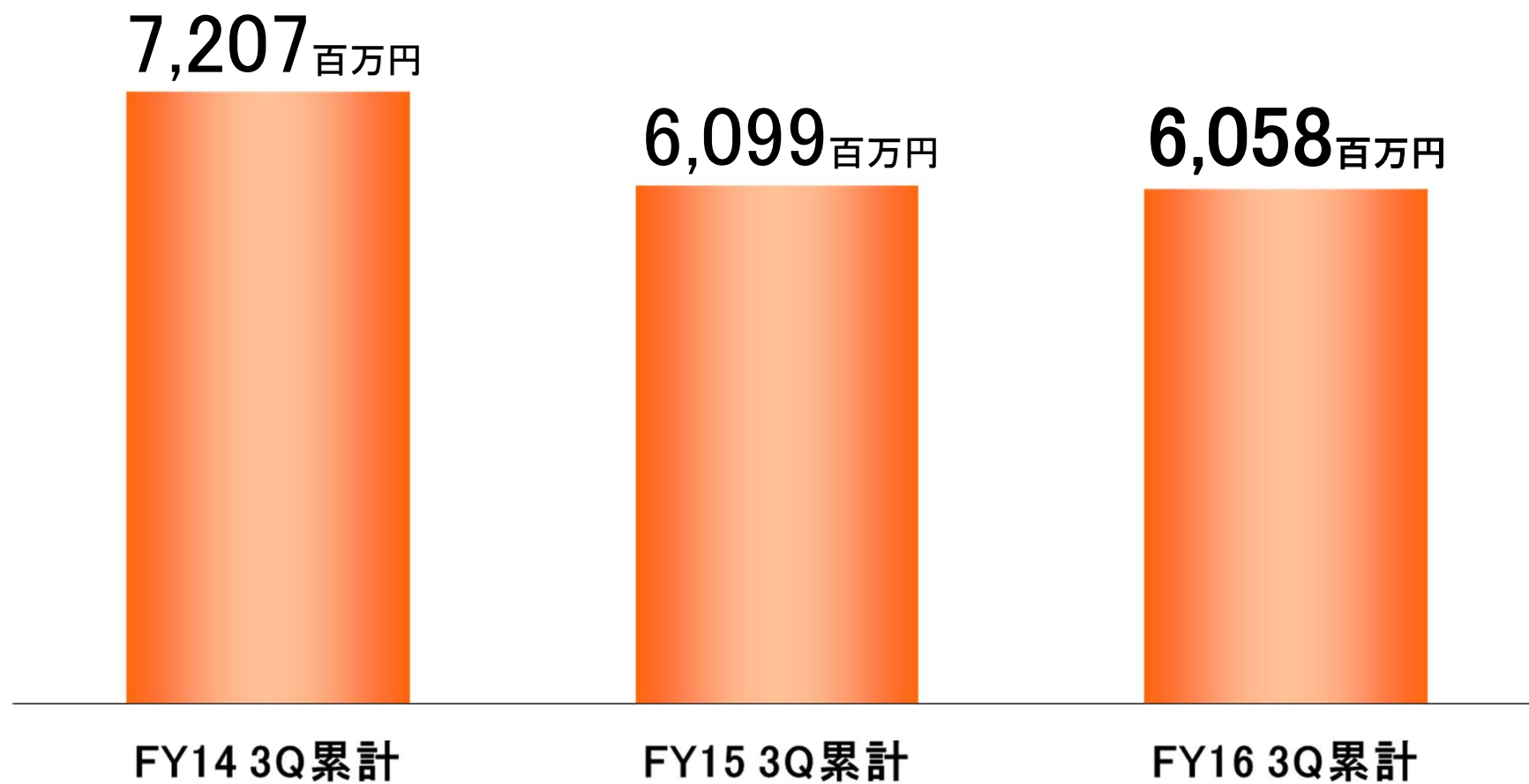
- 医薬品事業：国内、海外共に売上高は対前年同期比減
- 感染管理事業：一般用、業務用共に売上高は対前年同期比増
- 販売費及び一般管理費減少により利益は大幅増加

単位：百万円

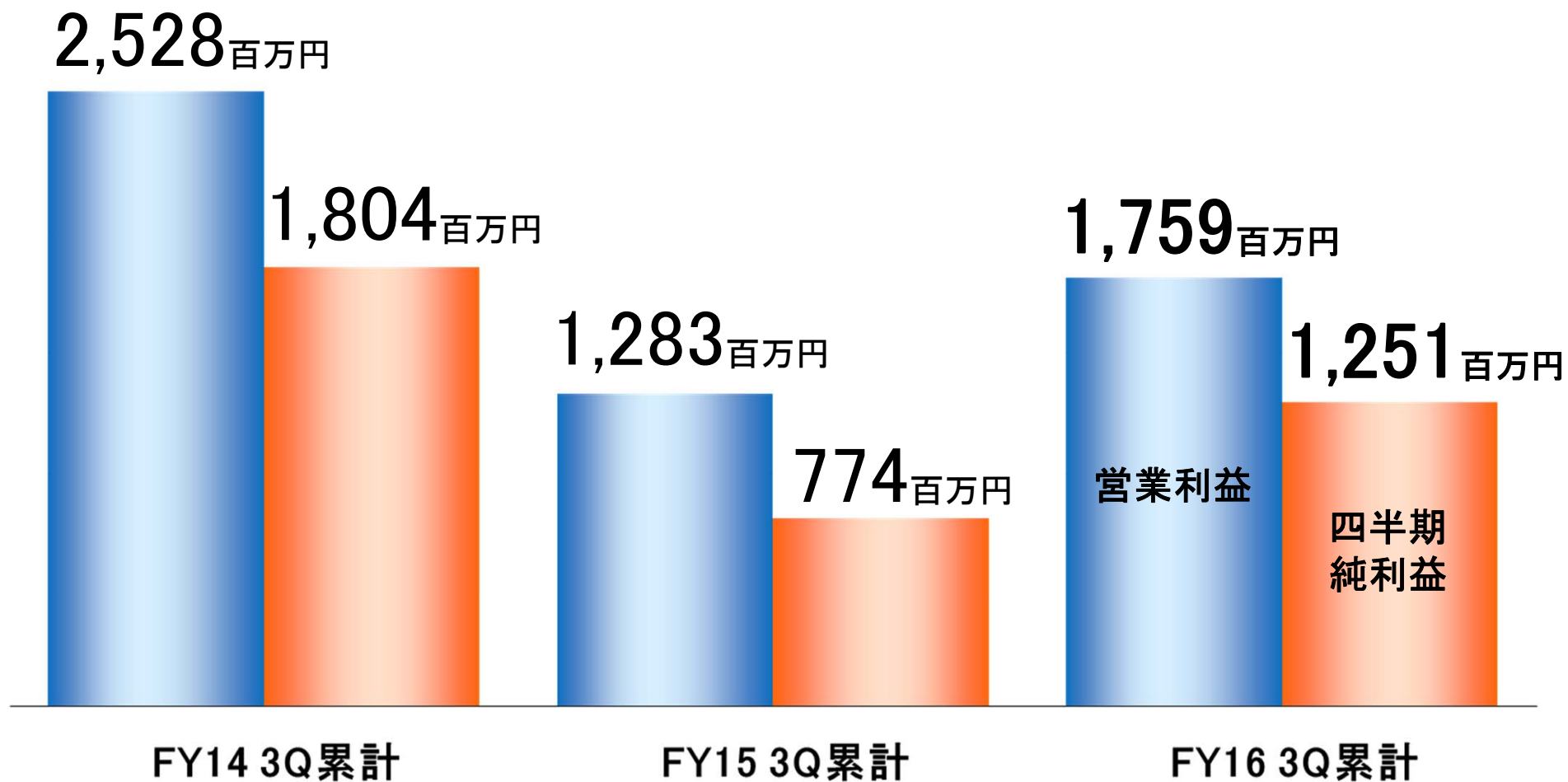
	FY15 3Q累計	FY16 3Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	6,099	6,058	△40	△0.7%	医薬品)対前年同期比1,018百万円減 感染管理)対前年同期比986百万円増
売上原価(※) (売上高比率)	1,626 (26.7%)	1,662 (27.4%)	36	2.2%	
売上総利益 (売上高比率)	4,472 (73.3%)	4,396 (72.6%)	△76 (△0.7P)	△1.7%	主に円高による影響から粗利減少
販売費及び 一般管理費	3,189	2,636	△552	△17.3%	販売費の減少等
営業利益 (売上高比率)	1,283 (21.0%)	1,759 (29.0%)	476	37.1%	
経常利益 (売上高比率)	1,318 (21.6%)	1,636 (27.0%)	317	24.1%	当3Q:未稼働設備関連費用180百万円計上
四半期純利益 (売上高比率)	774 (12.7%)	1,251 (20.7%)	477	61.6%	当3Q:補助金収入100百万円計上 前3Q:工場移転費用189百万円計上

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

連結売上高推移



連結営業利益・四半期純利益推移



販売費及び一般管理費

▶ 広告宣伝費の減少等により対前年同期比減

単位：百万円

	FY15 3Q累計	売上高 比率	FY16 3Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,385	22.7%	924	15.3%	△460	△33.3%	
広告宣伝費	813	13.3%	408	6.7%	△405	△49.9%	医薬品)193百万円減 感染管理)209百万円減
販売促進費	394	6.5%	382	6.3%	△12	△3.2%	
運送費	176	2.9%	134	2.2%	△42	△24.0%	
人件費	933	15.3%	940	15.5%	7	0.8%	
その他経費	870	14.3%	770	12.7%	△99	△11.5%	
研究開発費	246	4.0%	177	2.9%	△68	△28.0%	
支払手数料	153	2.5%	131	2.2%	△22	△14.7%	
計	3,189	52.3%	2,636	43.5%	△552	△17.3%	

連結財政状態

➤アース製薬との資本業務提携等により現金及び預金、純資産が増加

単位:百万円

	FY15 期末	FY16 3Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	7,432	9,793	2,361	31.8%	
現金及び預金	2,996	3,803	806	26.9%	アース製薬への自己株式処分等
売上債権	2,196	4,397	2,201	100.2%	売上高が3Q(10-12月)に偏重
たな卸資産	1,757	1,363	△394	△22.4%	
固定資産	8,874	8,649	△225	△2.5%	
資産合計	16,307	18,443	2,135	13.1%	
流動負債	2,007	1,915	△92	△4.6%	
仕入債務	239	361	122	51.4%	
固定負債	1,159	1,174	14	1.2%	
純資産	13,139	15,353	2,213	16.8%	自己株式処分、四半期純利益計上
負債純資産合計	16,307	18,443	2,135	13.1%	
自己資本比率	80.1%	83.1%			

連結キャッシュ・フロー状況

➤アース製薬との資本業務提携等によりキャッシュ残高が増加

単位: 百万円

	FY15 3Q累計	FY16 3Q累計	主な要因	
営業CF	△1,514	△94	EBITDA 未収消費税の減少 売上債権の増加 法人税等の支払	2,089百万円 483百万円 △2,251百万円 △338百万円
投資CF	△2,974	△84	固定資産取得による支出	△91百万円
財務CF	825	1,091	自己株式処分による収入 配当	1,214百万円 △195百万円
現金・同等物換算差額	△24	△146		
キャッシュ増減(※1)	△3,687	766		
キャッシュ期末残高	1,751	3,762		
EBITDA(※2)	1,521	2,089	営業利益 減価償却費	1,759百万円 329百万円

(※1) キャッシュ増減

= 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA

= 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 減収減益
- 感染管理事業: 増収増益

単位: 百万円

	売上高			営業利益			
	FY15 3Q累計	FY16 3Q累計	増減率	FY15 3Q累計	利益率	FY16 3Q累計	利益率
医薬品事業	4,432	3,414	△23.0%	1,862	42.0%	1,577	46.2%
感染管理事業	1,646	2,633	59.9%	248	15.1%	1,007	38.2%
その他事業	20	11	△43.1%	△22	-	△12	-
全社(※)	-	-	-	△805	-	△811	-
連結合計	6,099	6,058	△0.7%	1,283	21.0%	1,759	29.0%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 止瀉薬市場の停滞を背景に、期首の流通在庫が高水準にあったこと
競合他社製品の台頭等から減収
- なお、流通在庫水準は現時点ではほぼ正常化



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他医薬品



ピシヤット錠

製品カテゴリー別売上高

単位：百万円

	FY15 3Q累計	FY16 3Q累計	増減	増減率
正露丸	1,447	1,248	△198	△13.7%
セイロガン糖衣A	1,540	1,452	△88	△5.7%
その他(※)	136	36	△100	△73.5%
計	3,124	2,737	△387	△12.4%

(※) 整腸薬『ラッパ整腸薬BF』、止瀉薬『ピシヤット錠』等

当社の国内止瀉薬市場シェア

出所：(株)インテージ 調査データ

店頭小売価格ベース	FY15 3Q累計	FY16 3Q累計	増減
市場シェア	50.1%	47.2%	△2.9P

売上高減少約4億円のうち当社のシェア減少影響：約1億円と推定

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 中国市場は輸出に必要なライセンス更新完了を受けて出荷準備中
- 香港市場は中国からの観光客減少等により対前年同期比減

地域別売上高

単位:百万円



正露丸



セイロガン糖衣A

	FY15 3Q累計	FY16 3Q累計	増減	増減率
中国	359	-	△359	△100.0%
香港	707	526	△180	△25.6%
台湾	216	120	△96	△44.4%
その他(※)	23	29	6	28.1%
計	1,307	676	△630	△48.2%

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

➤ インフルエンザウイルス、ノロウイルス等による感染症流行を受け
 当社製品の店頭販売好調(対前年同期比26%増)



新製品クレベリン×ベアブリック



クレベリン ゲル

クレベリン スプレー



クレベリン
 パワーセイバー
 ペンタイプ



クレベリン LED
 カートリッジ



DENSO
 車両用クレベリン



クレベリン発生機
 リスパス NEO

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY15 3Q累計	FY16 3Q累計	増減	増減率
ゲル剤	1,283	2,144	861	67.1%
液剤	134	279	144	107.3%
クレベリン発生機(※)	228	208	△19	△8.5%
計	1,646	2,633	986	59.9%

(※)低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリン LED

対象顧客別売上高

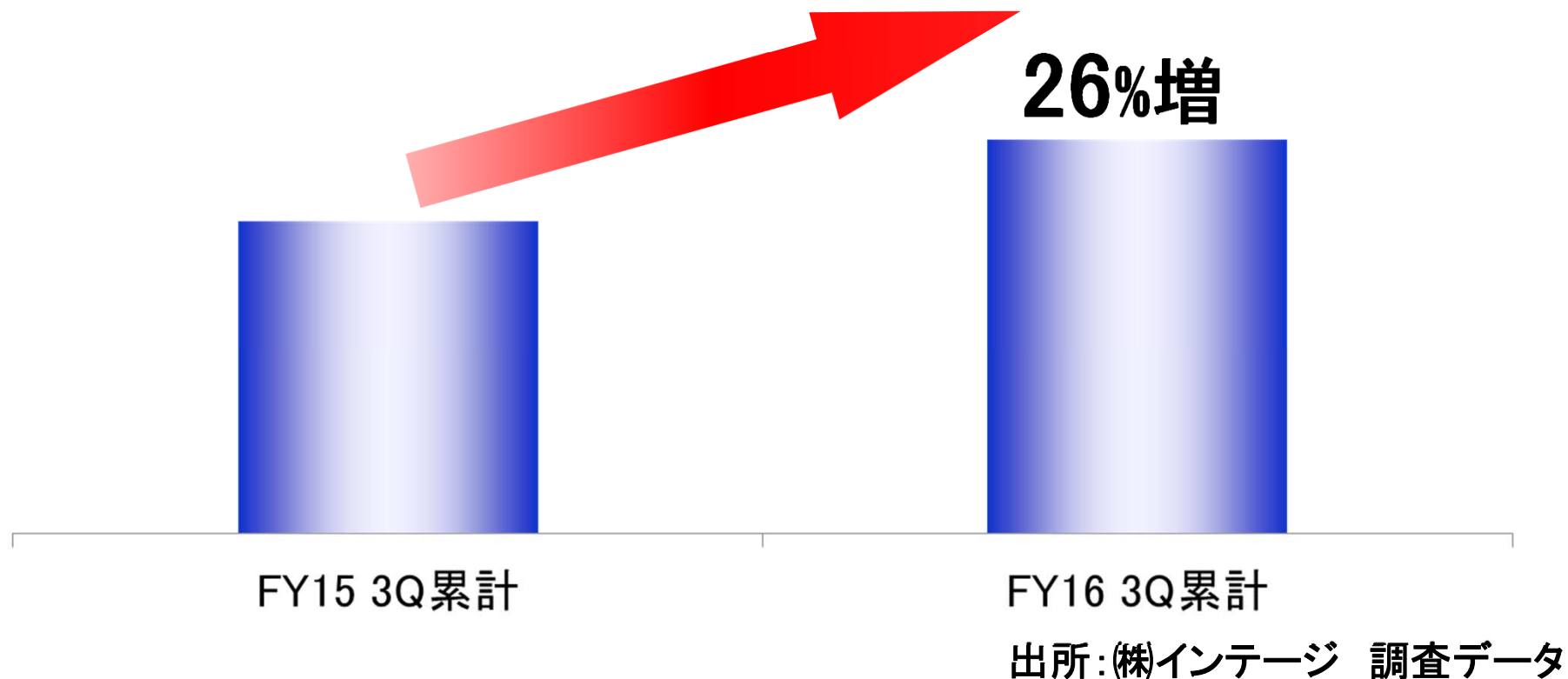
単位:百万円

	FY15 3Q累計	構成比	FY16 3Q累計	構成比	増減	増減率
一般用	1,133	68.9%	2,070	78.6%	936	82.6%
業務用	512	31.1%	562	21.4%	49	9.7%
計	1,646	100.0%	2,633	100.0%	986	59.9%

当社製品の店頭販売額(POS)動向

- 二酸化塩素製品市場は前年同期比18%成長
- 当社製品の店頭販売額(POS)は対前年同期比26%増と好調に推移

当社製品の店頭販売額(POS)動向



セグメント別事業概況(その他事業)

➤ 木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

製品売上高

単位:百万円

	FY15 3Q累計	FY16 3Q累計	増減	増減率
木酢製品等	20	11	△8	△43.1%

新規案件の進捗は順調

➤ 医薬品新製品開発中、他は既に出荷開始又は出荷時期決定

＜自社新製品開発＞

	内容	出荷開始時期
医薬品	新製品(新剤型の止瀉薬)開発	開発中
感染管理	クレベリン新バージョン開発(ベアブリック)	2016年9月

＜他社とのアライアンスによる新規事業＞

提携先	内容	出荷開始時期
アース製薬	感染管理 クレベリン新製品共同開発	2017年2月
ジョンソン トレーディング	感染管理 クレベリン新製品共同開発	2017年2月

＜新規販売チャネル開拓＞

提携先	内容	出荷開始時期
エーエヌディー	感染管理 資本提携(7月)。病院向け既存製品販売	2016年9月

※現時点では、上記事業による業績の修正はありません。

アース製薬との共同開発製品発表

- アース製薬と資本業務提携に基づく二酸化塩素ビジネスの共同事業
その共同開発製品第1弾を発表(2017年1月12日)

アース製薬との共同開発製品



「クレベリン トイレの消臭除菌剤」

アース製薬のグループ企業 ジョンソントレーディングとの共同開発製品



「JOYPET x クレベリン
ペットまわりの除菌・消臭 ゲル・スプレー」



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証するものではありません。